

特集1 ふおれすと鉦山指定管理者3年目突入
これまでのこうざん、これからのこうざん

特集2

ふおれすと鉦山の使い方～子育て世代編

ふおれすと鉦山の事業

コーザン・スペシャルウィーク×Earthday EZO 2009

リレーコラム カマンベツと呼ばれて

森重昌之（北海道大学大学院観光創造専攻）

スタッフルーム

MJ days 花ある紀 / スタッフコラム / ふおれほらこら /
カウンターのうらがわ

ふおれすと鉦山のデータからみる2008年

KOUZAN EVENTS / KOUZAN INFORMATION



photo: 松原 條一

26 Apr. 2009

鉦山録

こうざんろく

登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉦山」ニュースレター

発行：特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織「モモンガくらぶ」
〒059-0021 登別市鉦山町8-3 登別市ネイチャーセンターふおれすと鉦山
TEL/ 0143-85-2569 FAX/ 0143-81-5808
E-mail: kouzan@npo-momonga.org URL: <http://npo-momonga.org/>

これまでのこうざん、これからのこうざん

この春、モモンガくらぶがふおれすと鉱山の指定管理者となり、3年目を迎えます。これまでと何が違って、どう進化してきたのでしょうか。思い返してみれば、たくさんみなさんに支えられた2年間でした。



モモンガくらぶが、指定管理者としてふおれすと鉱山の運営をはじめてから、早3年目を迎えます。ここに至るまでの道のりは、あっという間だったようにも、長かったようにも感じる今日この頃です。いつもたくさんみなさんの応援があってこそふおれすと鉱山であり、モモンガくらぶだったなあ、と改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

モモンガくらぶの活動は、2002年ふおれすと鉱山設立と時を同じくして、その活動支援を行うボランティア組織として誕生したことからはじまります。当時は、登別市の直営の施設のため、市の職員の人たちとも、持ちつ持たれつ、ふおれすと鉱山の活動を盛り上げていく立場として活動をしてきました。そのような関係の中から、ふおれすと鉱山の指定管理者になるに足る組織として一定の評価をいただき、今日に至っています。

私たちの運営では、ふおれすと鉱山運営のコンセプトを踏襲しつつも、改善が必要なものは変え、良いものはさらに良いものへ、そして、良いもので変えてはいけないものは変えないようにしています。私たちは、このふおれすと鉱山という拠点、空間を、「みんな

で創るふおれすと鉱山」の合言葉のもと、まさに『カタチ』づくりに取り組んでいることを実感しています。

この『カタチ』、というのは、ふおれすと鉱山に流れる雰囲気であり、その時々で変わりゆくものの中にあふれる『カタチ』があります。中には、様々な木の建物たちが教えてくれる目に見える『カタチ』もあります。そう、ふおれすと鉱山でのいろんな体験の中で時に遊び、学び、力を貸してくれるような多くみなさんの関わりの中で、それぞれの物語がひとつにつながってはじめて見える『カタチ』なのです。

たとえば…イベントで行われ、たくさんの方々に競争してもらいながら行った立木の皮むきは、いつの間にかログハウスの「一本」になり、『カタチ』になっています。

たとえば…将来、木材としても利用することができる木々の植樹なり手入れの活動が、将来のみんなの憩いの場をつくっています。

たとえば…ながつレンジャーが整備してくれた歩道の上をお散歩しながらガイドウォークがされています。

その結果、新たな『カタチ』が生まれてい

ると感じています。それは、森や自然との付き合いの仕方を頭と心と体で知ることができる様々な自然体験の機会が、将来の登別をはじめとした自然を大切にココロにつながっていると、…また、気がつけば、ふおれすと鉱山を訪れるみなさんのおかげで、このふおれすと鉱山が楽しい場所になっているのだと、…そう感じています。

2009年度、ふおれすと鉱山は、また次の一歩を歩みはじめます。

良いものはさらに良いものへ、そして、良いもので変えてはいけないものは変えないように、このふおれすと鉱山という拠点、空間を、「みんなで創るふおれすと鉱山」の合言葉で、みなさんが楽しんでいただける場所であるよう、スタッフ一同頑張っていきますので、いつでも遊びに来てくださいね!!

text: 吉元 美穂

ふおれすと鉾山の使い方

～子育て世代編

「こんな使い方できるの?」「もっと、いろんな楽しみ方を知りたい!」…そんな声にお答えして、ふおれすと鉾山活用術、お教えします。第1回目は、子育て世代編です。

☆木のおもちゃ、あります。

館内には、木の砂場をはじめ、木のパズルやメロディタワーなど、温かみのある木のおもちゃがちりばめられており、安心してお子さんに遊んでいただけます。

☆旧市民展示室が、変身!

旧市民展示室が、木の砂場で遊ぶ子どもたちを見ながら、ゆったりくつろげるスペースへ。おしゃれな照明灯る、カフェ空間。5月の改装オープンに向けて、ただいま森のトンカチチームのみなさんが、作業をしています!お楽しみに♪

☆お泊まり、できるんです。

ふおれすと鉾山には、宿泊施設もあります。もちろん、ご家族連れでのご宿泊も大歓迎!ご家族で泊まるもよし、ママ友で同じ部屋に泊まるもよし、お気軽にご相談ください。

☆もんきーばーく

ふおれすと鉾山のグラウンドには、もんきーばーくという遊び場があります。木のブランコ、丸太の階段、たき火スペースなど、楽しめるものが

いっぱい。また、周辺の森をお散歩できる遊歩道があります。季節を感じ、自然を感じる、森の入口。館内には、周辺散策マップも置いてあります。

☆がまや、オープン!

手作り石窯がある『がまや』が、2008年10月オープンしました。手作りピザや手作りパンに挑戦してみたり。ご利用に関しては、お気軽にお問い合わせください。

こんな利用法もあります!

○主催プログラムやイベントに参加する!

→HPでチェック!

森のサロン、森ちょこっ広場、森のようちえん、もりもり森子くらぶ、ながくつレンジャー、その他、週末、平日にさまざまな主催事業が、目白押し!!

○子育てサークルで活用する!

→電話でお問い合わせ!

鉾山の自然の中で、なにをして遊ぶ?どんなことができるの?そんな時は、ふおれすと鉾山スタッフにご相談ください。ねらい、対象年齢に合わせて、季節にあった自然遊びを提案します。

今年のGWは コーザン・スペシャルウィーク

X  Earthday Ezo 2009

コーザン・スペシャルウィーク(SPW)は、鉾山の旬を楽しむ自然体験活動がいっぱいのイベント。春夏冬の年3回開催しています。毎年恒例のイベントだけど、あらためてその魅力を紹介します！

を楽しもう



☆幼児からシニアまで、いつきても遊べる

自然体験は誰でも楽しめます。SPWの3日間は、どんな方でも体力や好みに応じて遊ぶことが出来る企画が満載！春の自然を案内するガイドウォークや、木工クラフト、春の野点など時間限定プログラムのほか、ここ最近の人気は「フリープログラム」。遊歩道やプレーパーク、焚き火など、それぞれのお好みに合わせていつ来ても楽しめる空間です。もちろん、自然遊びの達人であるスタッフが随所にいますので、楽しく遊ぶお手伝いをしますよ。



☆家族で、お友達で、ゆっくりお泊り

ふおれすと鉾山は学校などの団体だけでなく、個人で泊まることもできるのを知っていますか？食事は自炊。館内のキッチンはもちろん、野外でのバーベキューにも良い季節ですよ。ちなみに去年は満開の夜桜が見事でした！今年はどうなるかな？

☆入場無料！

ふおれすと鉾山はいつでも入場無料。もちろん、SPW期間中も。クラフトやガイドウォークなどのプログラムに参加する場合だけ、材料費などの実費分として数百円程度いただいています。気軽に遊びに来てくださいね。



☆地球のことを考えよう

スペシャルウィークで、森で遊んで、身近な自然に触れて、そして、そこからつながる地球環境のことも考えてみよう。地球は、キミにどんなことを語りかけてくれるかな。

Earthday Ezo 2009

アースデイとは、地球のことを考え、行動する日です。1970年から続くアースデイは大人から子どもまで、世界184の国と地域、約5000箇所で行われている世界最大の地球フェスティバルです。北海道では「Earth day Ezo」として昨年からはじまり、道内のあちこちで36の企画が行われました。コーザン・スペシャルウィークも昨年に引き続きアースデイ企画のひとつとして開催し、アースデイを応援します。 <Earth day Ezo 2009のホームページ⇒<http://www.earthday-ezo.net/>>

まちとの“距離感”が生み出すもの

幌別のまちから山間へ10kmの場所にあるふおれすと鉾山。
この“距離感”から、これからの観光がめざすべき方向が見えてくる。

日本では、50年ほど前から多くの人びとが観光に出かけるようになった。かつての観光は日常空間を離れ、仕事や家事の疲れをリフレッシュすることが目的だった。そのため多少羽目を外しても、「旅の恥はかき捨て」と大目に見てもらえた。ところが最近では、現地の人しかできないことを体験したり、旅先でボランティア活動に参加するなど、これまではなかった観光が生まれている。これは、人びとがリフレッシュだけでなく、「生活のスタイルを変えたい」「新しい自分を発見したい」など、旅先で何かを得ることも重視するようになったことを示している。しかし、日常生活と旅先での体験のギャップが大きければ、その体験はたんなる「思い出」となって日常に活かされず、旅先から戻った途端に、人びとは今までと同じ生活に引き戻されてしまう。

ところが、ふおれすと鉾山はどうだろうか。幌別から10kmという“距離感”と鉾山町の自然環境が非日常の空間を演出し、普段は得られない発見があり、新しい活動が次々と生まれている。一方で、ボランティアや利用者の多くはいわば「ご近所さん」であり、彼らの日常空間とふおれすと鉾山は同じ登別市にある。この“距離感”によって、ふおれすと鉾山は非日常空間の効果をもたらす一種の観光でありながら、その成果を日常空間に持ち帰ることもできる。実際、ふおれすと鉾山で生まれたさまざまな活動が、鉾山町から幌別地区、登別市、胆振管内へと広がっていることは、その証しだろう。つまり、ふおれすと鉾山は日常生活を豊かにする役割を果たしているのだ。

「ふおれすと鉾山に観光に行ってくる」と言う人はまずいないが、非日常空間で得た体験を日常に持ち帰り、生活を豊かにするという現在の観光が求める姿を、ふおれすと鉾山はごく自然に見せてくれている。

what's 森とまちがつながる。 森とまちをつなぐプロジェクト、始動。

森・自然とまち・私たちの暮らしをつなげることで、森も地域もますます元気になるように、そんな願いから、このプロジェクトは設立準備が進められています。地域にあるまちの資源に、自然資源をつなげることで、新たな価値が誕生する。そんな取り組みを目指しています。

森とまちをつなぐプロジェクトの応援サポーターを募集しています。プロジェクトは2009年から始動。

プロジェクト準備メンバー：登別市、登別商工会議所、登別ゲートウェイセンター、登別自然活動支援組織モモンガくらぶ、いぶり自然学校（順不同）

企画：登別自然活動支援組織モモンガくらぶ



text：森重 昌之
北海道大学大学院観光創造専攻

1972年、大阪府豊中市出身。
シンクタンク研究員を経て、
2007年4月から北海道大学大学院に進学。現在は道内各地をフィールド調査しながら、「どうやって観光・交流による地域づくりを進めるか」について研究している。
共著書『地域からのエコツーリズム』（学芸出版社）。

春の香り「フキノトウ」

季節の移ろいの感じ方は人それぞれですが、私は雪の合間から黄緑色のフキノトウが花首をもたげている姿をみると、春のにおいを感じ、なぜかうきうきします。まだ辺りには残雪があり、気温もさほど高くなくても地面から力強く顔を出し、花をつけます。今年の鉾山町では3月にはいると、河原の陽当たりのいいところで雪の間から顔を出し、十分に食べられるほどの大きさになっていました。フキノトウは山菜として有名なフキ（アキタブキ）の花であり、子孫を残すための機能を請け負っています。そしてそのフキノトウには雄株、雌株があります。この形態を雌雄異種（しゅういしゅ）と言いますが、雄株はすべて両生（のような）の筒状花ですが、結実はしません。合着したおしべにたっぷり花粉をつけます。雌株は糸状のめしべがのびて受粉し、結実します。雌株には雄株と同じ星形の筒状花が数個混じりますが、これには花粉はできません。雄株は花粉を出した後は丈をさほど伸ばすこともなく、まもなく枯れて倒れてしまいます。一方、雌花は受粉後、種が充実するまで伸び続け、80cmにもなります。種を少しでも遠くへ飛ばすためのようです。

かつて雌雄同株（しゅうどうしゅ）だったフキがより確実に優秀な子孫を残していく方法として進化してきたのだと想像できます。

雄株と雌株の見分け方はそう難しくはありません。どちらかという黄色っぽいのが雄株、白っぽいのが雌株です。また、ルーペで花を見るとすぐにわかります。花粉をいっぱいにつけているのが雄花（株）ですね。ちなみに、フキ（葉っぱの部分）とフキノトウは地下茎でつながっています。葉っぱの部分は栄養葉の役割を担っています。光合成をしっかりと行い、翌年にために体力を蓄えておきます。

春の香りの代表格、フキノトウはなかなか奥が深いですよ。

2009年3月13日（金）記 MJ

スタッフコラム

たーぼ
de

『たーぼ』という人間、
みなさんにとってどうだったでしょうか？

物忘れは多いし、片付けもできない。早口でよくかむし、坊主だし・・・一瞬でいろいろと悪いところは思いついてしまいますが・・・それでもこんな私といっしょに活動して楽しかったなあ。と思ってくれていると、それだけで大満足です。

鉾山にいる日も少なく、秋なんてほとんどいなかった私ですが、鉾山に帰ってくると「たーぼ、久しぶり!」「生きてたかあ」「あら、珍しいわね」なんて声をかけてくれて、うれしかったです。

子どもたちと遊んでいるとき、素敵なおことや楽しいことを発見した瞬間の笑顔が私にも伝染して、笑顔になるときは、言葉が通じなくても楽しい気持ちになる。

なんか心が洗われているような、そんな気がしました。

子どもたちを見守る保護者の方のやさしい顔。私も子どもができたなら、あんな顔をして子どもと遊びたいです。

夜、お話をしているとき、おバカなことをしたり、たくさんのおしゃべりをして、とても楽しかったです。

ふおれすと鉾山に来てくれるみなさんの楽しみたいという気持ちが、いつも私を楽しく、元気づけてくれていました。

みなさま、一年間楽しく実りのある時間を本当にありがとうございました。

私の今後の予定は未定ですが、将来は自然と人と一緒に農業をしながら、その土地と一緒に暮らしていきたいと考えています。

またどこかでお会いしましょう!

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



たーぼこと鈴木剛充

たーぼのあつたかーい心、
忘れないよ!1年間ありがとう!

今回は、「あそばくひろば」を引っ張ってきた「かずえ&まさこちゃん」に、ふおれすと鉱山との関わりについてインタビューを試みました。

K: かずえ (市村和恵さん)

あそばくひろばを立ち上げた張本人。『食』と『遊び』に興味津々。現在、森のサロンと森ちよこっひろばで活躍中。

M: まさこちゃん (神尾理子さん)

かずえさんと一緒にあそばくを引っ張ってきた、誰もが認める明るい性格の持ち主。現在、森のサロンと森ちよこっひろばで活躍中。

※「あそばくひろば」とは：文化女子短期大学付属幼稚園に通う親子で、たくさん遊んじゃおう！という目的により発足された園外活動。

●ふおれすと鉱山との出会いは？

K 子どもが通っていた幼稚園のお別れ遠足をここでやって、雪のテーブルでラーメンを食べたのがきっかけ。それまで知らなくて、その時、紹介してもらって、はじめて知ったの。

M わたしは、子どもが幼稚園で「あそばくひろば」の案内を持ってきたのがきっかけ。

K それ渡したのがわたしの。そのときはじめてわたしたち出会ったの(笑)。

M 鉱山で遊びましようって、案内見て、おもしろそー！って、さっそく参加したの。

●ふおれすと鉱山に来て楽しいことは？

M わたしは、かずえとここで会えるのが楽しい。

K じゃ、かずえもそんな感じ(笑)。ここで一緒に遊ぶのがいいの。誰かのためじゃなく、自分が楽しいの。

M スタッフが友達になって、仲間になっていくのが楽しい。そして、ここでかずえが作ったご飯を食べるのが好き。

K 自分のペースでできる遊びがいいの。自分が空いている時間に、自分がしたいことをやっているって感じ。

M 自分の来れる時間に来て、自分も楽しんでいて、それがふおれすと鉱山の役にたっているんだったら、すごくいいことだよ。基本は、ふおれすと鉱山のためにやっているんじゃないって、自分のためにやっているから。

●ふおれすと鉱山に向けてメッセージをどうぞ

M かずえとすごく仲良くなれたのは、鉱山のおかげだなって。

K うん、そうそう。

M 今のあそばくスタッフとは幼稚園で仲良くなったんじゃないって、鉱山で仲良くなってるんだよね。子どもの学年違うでしょ？ つないでくれたふおれすと鉱山に感謝したいわ♪

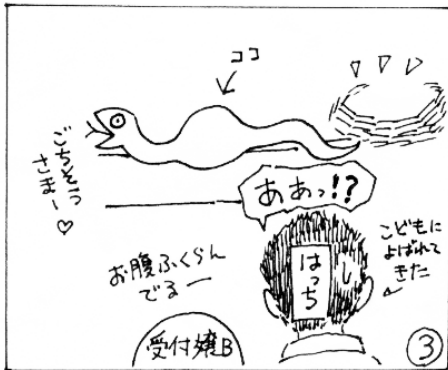
ふおれすと鉱山
ボランティアのコラム

⑥

ふおれすと
らこら

受付嬢の絵ごころ

カウンターの
うらがわ



Illustrated by けんこ (児玉 顕子: 受付スタッフ)

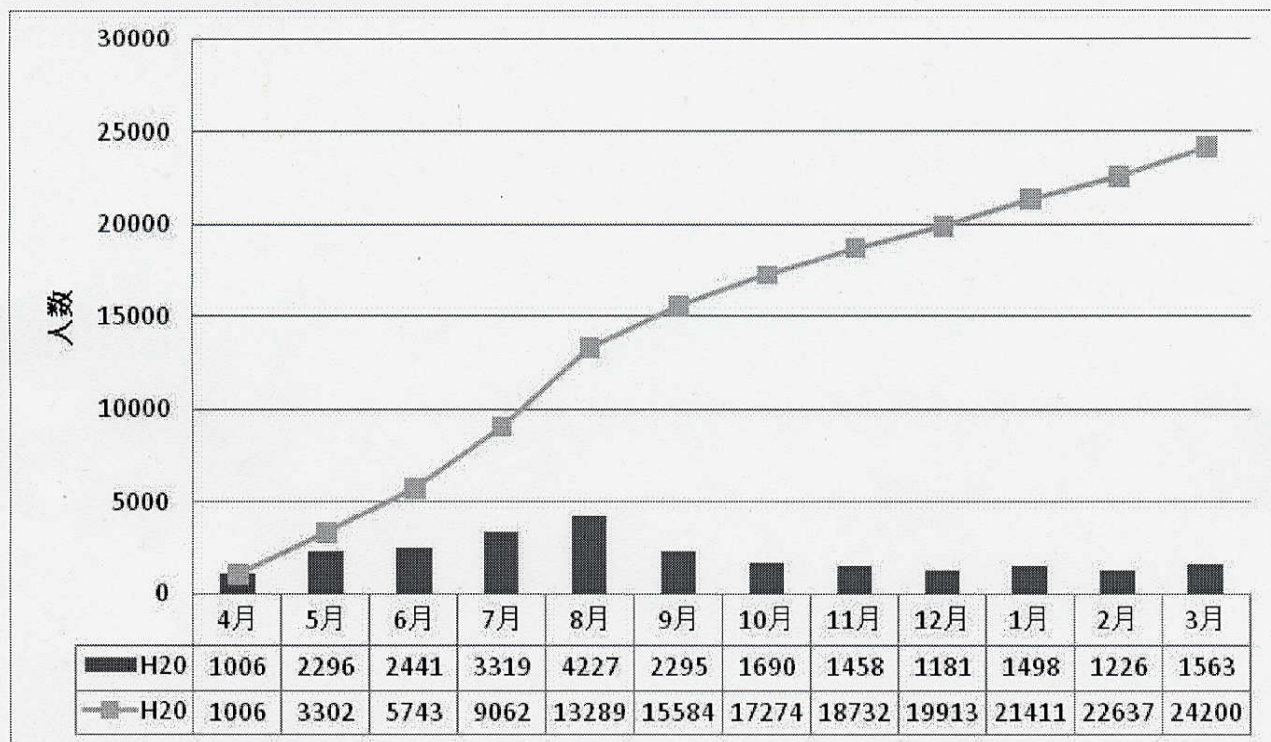
ふおれすと鉱山の

データからみる2008年。

2008年度もたくさんの方々にご利用いただきました。本当にありがとうございました。今回は、データからふおれすと鉱山の2008年をちょっとのぞいてみようと思います。

2008年度利用者数。

2008年4月から2009年3月までの利用者数をまとめてみました。3月末の見込みを入れて、24,200名と、本当にたくさんの方々にご利用いただきました。



2008年度事業数。

ふおれすと鉱山の事業には、主催事業と受託事業があります。下記の他に、モモンガくらぶ主催事業が、106事業実施されています。

	カテゴリー	事業数	参加人数
ふおれすと鉱山 主催事業 (140)	環境保全事業	9	336
	子育て支援事業	51	1982
	自然体験活動事業	38	300
	啓蒙啓発事業	10	1169
	人材育成事業	29	245
	利用者会議	3	51
	受託事業 (175)	学校団体	36
	一般団体	139	4410

■ KOUZAN EVENTS

鉾山で行われるイベントチェック！

4月

〔16日（木）、23日（木）〕 早春のガイドウォーク
 〔18日（土）〕 第2回こうざん写真教室
 〔26日（日）〕 春の1 Dayハイク

5月

〔3日（日）-5日（火）〕
 コーザン・スペシャルウィーク×アースデイEZO
 〔9日（土）、10日（日）〕 KoNG養成講座※
 〔9日（土）〕 鉾山バードソン2009
 〔10日（日）〕 鉾山フラワーソン2009
 〔14日（木）〕 ガイドウォーク
 〔16日（土）〕 里山イベント
 〔31日（日）〕 春の登山会（来馬岳）

※KoNGとは、コーザン・ネイチャーガイドの略称です。

6月

〔6日（土）、7日（日）〕 KoNG養成講座
 〔11日〕 たまにはアウトドアライフ

最新情報はこちら！ → <http://npo-momonga.org/>

**5月3・4・5日
GWも鉾山で遊ぼう！**

5月3・4・5日は毎年恒例、森の中で遊んで楽しむ自然体験まつり「コーザン・スペシャルウィーク」を実施します。春の自然を案内するガイドウォークや、木工クラフト、春の野点などのプログラムや、遊歩道やプレーパーク、焚き火など、それぞれのお好みに合わせて、いつ来ても楽しめる場所を用意しています。



**Earthday Ezo 2009
と同時開催！**

**〔里山イベント〕
木と森と自然とふれあう1日**

5月16日（土）

木を使った
木工クラフト
や春の森の散策、
ログハウスづくりの見学など、木や森と
たっぷりふれあう1日です。
里山コンサートも開催しますので、ぜひ
遊びに来てください。

2009年度 ふれあすと鉾山の 子どものための“月イチ”プログラム

4月から
募集スタート



自然体験活動の中には、「子育てが楽しくなるヒント」や「心豊かな生活へのヒント」があります。それを森のサロンで一緒に体験しましょう。

対象：乳幼児の親子
09年度3歳以下の未就園児とその保護者



春・夏・秋・冬。いつの季節も自然の中には遊びがいっぱい。自然はいろんなことを教えてくれる。家族みんなで旬の自然遊びを楽しもう。

対象：幼児とその家族
09年度3歳以上になる未就学児とその家族



子どもは親から離れてちょっとした冒険に出かけます。その間、保護者の方は、季節感のあるおやつ作りで、ゆったり大人の時間を過ごしましょう。

対象：幼児の親と子
09年度5歳以上になる未就学児とその保護者



ネイチャーセンターお仕事体験プログラム。実際にスタッフがやっている仕事を地域の大人と一緒に楽しく行います。流れるその汗がカッコいい！

対象：小学校1～6年生

■ KOUZAN INFORMATION

ふおれすと鉱山ご利用のご案内

開館 9:00~17:30 入館料 無料

休館日: 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります)、**年末年始**

※7月、8月は休館日なし

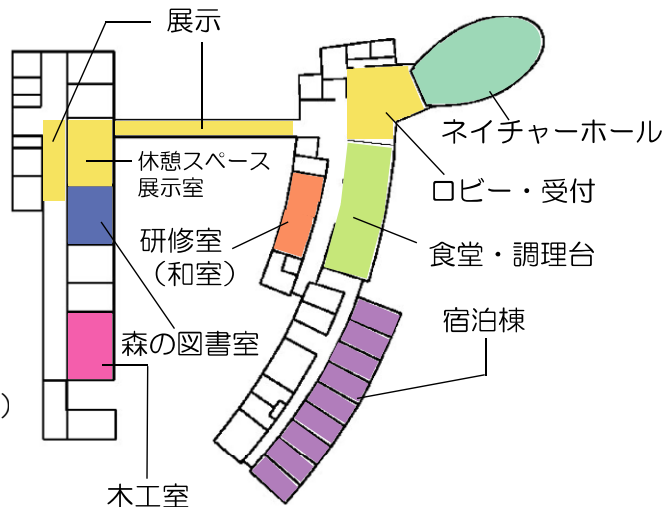
■ 宿泊料 チェックイン 14:00~
チェックアウト ~11:00

大人 1人 1,800円
高校生 1人 1,200円
小・中学生 1人 500円
幼児(4歳以上) 1人 200円

※3歳以下は無料

テント1張 1泊 500円

暖房費 1人1泊 100円 (暖房費使用時にいただきます)



■ 施設・備品等使用料金

	9:00~12:00	13:00~17:30	9:00~17:30
研修室 (暖房費)	500円 (200円)	700円 (300円)	1,200円 (500円)
ホール (暖房費)	1,000円 (500円)	1,500円 (700円)	2,000円 (1,200円)

※暖房料は暖房使用時にいただきます。

※ログハウス {森のおうち、森トンハウス、ツリーハウス(かぜのいえ)}、石窯小屋のご利用も可能です。

その他ご不明な点は、下記連絡先へ。

■ 備品使用料金

調理台	1台	1時間につき100円
マウンテンバイク	1台	1時間につき100円
歩くスキー	1セット	1時間につき100円
卓球台	1台	1時間につき100円
デジタルカメラ	無料	
双眼鏡	無料	



鉱山録

EDITOR'S LOUNGE

例年に比べて雪が多かった鉱山町にもやっと春が来ました。今までの鉱山録は外部に発注して作成していましたが、26号からは自分たちの手で作成・発行していきます。もっと知りたいことや「こんなことしたい！」など、ご意見・ご要望などいつでもお受けしますので、いつでも気軽にお声掛けください。(や・さ・え・お)

登別市ネイチャーセンター通信誌「鉱山録」 Vol.26

発行：2009年4月

発行所：〒059-0021 北海道登別市鉱山町8-3

電話番号：0143-85-2569 FAX: 0143-81-5808

E-Mail：kouzan@npo-momonga.org

URL：http://npo-momonga.org/

■ KOUZAN INFORMATION

ふおれすと鉱山ご利用のご案内

開館 9:00~17:30 入館料 無料

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります）、年末年始

※7月、8月は休館日なし

【ふおれすと鉱山活用のしかた】

まずは、ふらりと。

入館料は無料です。気軽に遊びに来てください。

周辺をお散歩したり、ログハウスでお茶したり。

仲間が集まってお泊まりもいかがですか？

のんびりとした時間をどうぞ。

オーダーメイドで。

プログラム参加もいいけど、何をするか自分で決めたい。そんな方はお気軽にご相談ください。スタッフが活動をサポートします。ご家族単位でお気軽にどうぞ。（スケジュールによっては、当日のサポートができない場合もございます。）

プログラムに参加してみよう。

春夏秋冬、その季節ならではの自然を楽しむプログラムをたくさん開催しています。スケジュールを確認して、プログラムに参加してみませんか？

いっしょに作りませんか？

ふおれすと鉱山の活動は、たくさんのボランティアに支えられています。参加するだけでは飽き足らなくなってきたら、一緒に活動を作りませんか。ちょっとしたお手伝いから、お客さんの案内まで。一緒にふおれすと鉱山をつくっていきませんか？

■施設使用料金

	9:00~12:00	13:00~17:30	9:00~17:30
研修室 (暖房費)	500円 (200円)	700円 (300円)	1,200円 (500円)
ホール (暖房費)	1,000円 (500円)	1,500円 (700円)	2,000円 (1,200円)

※暖房料は暖房使用時にいただきます。

※ログハウス{森のおうち、森トンハウス、ツリーハウス(かぜのいえ)}、石窯小屋のご利用も可能です。

その他ご不明な点は、下記連絡先へ。

■宿泊料 チェックイン 14:00~ チェックアウト ~11:00

大人 1人 1,800円 高校生 1人 1,200円

小・中学生 1人 500円 幼児(4歳以上) 1人 200円

※3歳以下は無料

テント1張 1泊 500円

暖房費 1人1泊 100円 (暖房費使用時にいただきます)



鉱山録

EDITOR'S LOUNGE

登別市ネイチャーセンター通信誌「鉱山録」 Vol.26

発行：2009年4月

発行所：〒059-0021 北海道登別市鉱山町8-3

電話番号：0143-85-2569 FAX: 0143-81-5808

E-Mail：kouzan@npo-momonga.org

URL：http://npo-momonga.org/